

2006年4月から - - -

## 禁煙治療が大きく変わります

### 「ニコチン依存症」の治療



スモーカーライザー検査

2006年4月から、以下の条件を満たす「ニコチン依存症」の外来患者の禁煙治療が保険診療の対象となります。

1. 直ちに禁煙しようと考えている
2. ニコチン依存症のスクリーニングテストが5点以上である
3. ブリンクマン指数（1日喫煙本数×喫煙年数）が200以上
4. 禁煙治療を受けることを文書により同意していること

なお、ニコチンパッチやニコチンガムなどのニコチン製剤については保険給付の対象外です。詳しくは当院窓口までおたずね下さい。

### 「スモーカーライザー検査」 （呼気一酸化炭素濃度の測定）

#### 有害成分の接種状況の把握

タバコには、約200種類以上の有害物質が含まれており、代表的な有害物質として、ニコチン、一酸化炭素、タールがあります。これらの有害物質をどれくらい体内に取り込んでいるかは、タバコの吸い方で変わり、タバコの本数だけでは正確な把握はできません。

この検査は一酸化炭素を指標として、あなたがタバコに含まれている有害成分をどれくらい取り込んでいるか調べることができます。

## 健康講座 「からだのリズムを整える」

講師：于海 (Yu Hai) 先生

北京出身・医師。  
岐阜大学医学部（免疫病理）  
岐阜大学工学部（生命工学）  
での研修終了。現在、岐阜  
環境医学研究所研究員。

とき：第14回  
2006年4月3日(月)  
13:00 ~ 14:00

テーマ：「薬膳料理」

参加費：無料

申込み：参加ご希望の方は、当診療所までご連絡ください。

### ～健康講座を聴いて～

テーマ『マッサージの禁忌症』

体が痛いとき、だるいときにマッサージをしてもらおうと楽になりますが、マッサージをしてはいけない病気があります。それを「禁忌症」と言い、以下の病気がそれらにあたります。

#### [病気]

骨折・脱臼：(骨位置を元に戻したら固定・安静)  
妊婦の腹部、腰部：  
急性伝染病：  
からだが弱っている人：強くはダメ。胃腸風邪の時はマッサージによって血液が全身に回り、肝心の胃腸にいかないからダメ。頭部へはOK。

重度の皮膚病：キズ、しもやけ、アトピーの箇所など  
急性の炎症部分：ヘルペス、じんま疹など

出血性疾患：  
骨髄炎：  
骨腫瘍：  
急性脊椎損傷： } 安静が第一

マッサージ治療ができない場合は、症状に応じて以下のような方法で対処します。

生姜水：温める  
冷水：冷やす、熱を下げる  
蒸留水：皮膚を清潔にする  
薄荷水：夏の風邪  
生卵の白身：消化能力の増強  
アルコール：熱を下げる  
薬酒：薬の薬効

## 漢方入門

(2)



【コショウ】未熟果の果皮をつけたものが黒胡椒、完熟果の果皮を除いたものが白胡椒

于海 (Yu Hai)

漢方医学では、古代哲学と分けて考えることはできません。「陰陽」という考え方が両者の基礎にあります。

《易》の記載によると、「一陰一陽之謂道（陰と陽は基本的な規則）」といえます。陰と陽は自然界の月



「ショウガ」本種の根茎を生薬ショウキョウ（生姜）という。日本薬局方準拠のショウキョウは乾燥した根茎、すなわち乾姜のこと。

(夜)と太陽(昼)人体の上下左右、男女の性別などのような関係です。

陰と陽は互いに依存し、抑制し合っ

ています。一方が強すぎたりあるいは弱すぎたりすることは全体の平衡(バランス)を崩し、しぜん

と人体にも影響を及ぼします。治療上では、もちろん陰陽の平衡を回復させることが基本です。弱いものを強め、強いものを弱めるといった治療です。

例えば、冷え性の方は体内の陽が足りないと考えられているので、薬の中に温めるはたらきのある生姜、胡椒、白葱がよく使われています。こういったものを、当然、毎日の料理の中でもよく使う方がよいと思われます。(つづく)

## CTを使った 肺がん検診のはなし

- 16 -

まず、「なくす会」の検診方法から紹介しましょう。

検診は、胸部のマルチスライスCT (multidetector-row CT 以下、MDCT) と昔から使われていた胸部直接X線撮影、喀痰細胞診、アンケート、診察を6ヶ月間隔で行っています。胸部直接X線撮影は、高電圧で背中から腹部の方向を撮影(初回時のみ右から左への側面も撮影)。喀痰細胞診は、喫煙と関連が深いとされる肺門部の早期肺がんチェックのために併用、集細胞法(サコマノ法、連続3日間の蓄痰法)を用いています。

MDCTは、水平方向に10mm幅のスライス画像を用い、はじめに医師が単独で読影、次にCAD(コンピュータによる診断支援)の結果を参考に再度読影、最終判定としています。

さらに、この10mm幅のスライス画像で精検検査が必要とされた病変について、指摘された部位の2mm幅スライス画像を見て2次読影を行い、要精検者の絞り込みを図っています。(以下、次号)

「漢方入門」の植物写真：「帝京大学薬学部ホームページ」より